

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 17 日(2025.6.17)

【公開番号】特開 2023-181172(P2023-181172A)
【公開日】令和 5 年 12 月 21 日(2023.12.21)
【年通号数】公開公報(特許)2023-240
【出願番号】特願 2023-168966(P2023-168966)
【国際特許分類】

A 6 3 H 3/36(2006.01)

10

A 6 3 H 3/46(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 3/36 G

A 6 3 H 3/46 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 9 日(2025.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 方向に延びる軸周りに回動可能な第 1 可動部と、

第 3 方向に延びる軸周りに回動可能な第 2 可動部と、

前記第 1 可動部および前記第 2 可動部に対して回動可能に接続される第 3 可動部と、を
備え、

前記第 1 可動部は、前記第 3 可動部と共に前記第 2 可動部に対し、前記第 1 方向に交差
する第 2 方向に延びる軸回りに回動可能であり、

30

前記第 3 可動部は、前記第 1 可動部が前記第 1 方向に延びる軸周りに回動した際、前記第
2 可動部に対して摺動する、玩具。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の玩具であって、

前記第 1 可動部は、前記第 2 方向に延びる柱状部を有し、

前記第 3 可動部は、一端側が前記柱状部の周りに設けられた旋回盤の外周面に沿って旋
回可能に連結され、且つ他端側が前記一端側が旋回する際に前記第 2 可動部に設けられた
係合孔に対して摺動可能に連結されている、玩具。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の玩具であって、

前記旋回盤の旋回面は、前記第 2 方向に対して傾斜している、玩具。

40

【請求項 4】

請求項 2 に記載の玩具であって、

前記第 3 可動部は、少なくとも前記一端側が前記旋回盤を挟み込むように係合する一対
の部材にて構成されている、玩具。

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 に記載の玩具であって、

前記第 3 可動部は、両端が第 1 可動部と第 2 可動部にそれぞれ軸支され、且つ長手方向
の途中に伸縮可能なシリンダ構造を備えている、玩具。

【請求項 6】

50

請求項 5 に記載の玩具であって、

前記第 1 可動部は、前記第 2 方向に延びる柱状部を有し、

前記第 3 可動部は、前記柱状部を挟み込む一対の部材を備える、玩具。

【請求項 7】

請求項 2 に記載の玩具であって、

前記第 1 可動部は、前記第 3 可動部の一端に接触可能なストッパ部によって旋回範囲が規制されている、玩具。

【請求項 8】

請求項 1 又は 2 に記載の玩具であって、

前記第 1 可動部は、第 1 部材および第 2 部材を備え、

10

前記第 1 部材および前記第 2 部材は、前記第 1 方向に延びる軸周りに所定角度の範囲で回動可能に設けられ、

前記第 3 可動部、及び前記第 2 可動部は、前記第 1 部材および前記第 2 部材の夫々に対応して設けられ、

前記第 1 部材および前記第 2 部材の夫々に対応して設けられた前記第 3 可動部、及び前記第 2 可動部は、前記第 1 方向に延びる前記軸に対して独立して回動可能である、玩具。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の玩具であって、

前記第 1 部材および前記第 2 部材には、互いに接触して互いの移動角を制限する可動範囲ストッパが設けられている、玩具。

20

【請求項 10】

請求項 8 に記載の玩具であって、

前記玩具は、胴体又は足首を有し、

前記第 2 可動部は、前記胴体側若しくは前記足首側の取付部材である、玩具。

30

40

50